

2日目 7月14日

会 場： 県立浜山球場

第3試合	～1回戦～ (延長12回)																			
T E A M	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E		
益田翔陽	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	1				4	8	2		
津和野	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0				3	5	2		
(投手-捕手)																				
・ (益)	吉村 - 石橋																			
・ (津)	岡 - 中島																			
(長 打)	(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)							
・ (益)	西田昂																			
・ (津)	土手、松本																			
(審判) [球審]	佐々井			〔一塁〕 藤本邦				〔二塁〕 大谷				〔三塁〕 仁科大								
(チーム成績)																				
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守	備	失	暴	ボ	逸	打	妨
(益)	47	8	4	1	0	0	9	2	2	0	7	1			2	0	0	0		0
(津)	45	5	2	2	0	0	3	4	3	0	6	1			2	0	0	1		0

### 「両エース熱闘！今大会初の延長戦は益田翔陽に軍配上がる」

試合前のシートバック中に豪雨に見舞われ、試合開始が遅れる中の難しい中での試合だった。あわや中止かと思われるようなグラウンドが完全に水没した状態から約20分で試合が出来る状態に迅速な整備をした大社高校も見事であった。

試合は制球の良い両投手が落ち着いて前半3回を抑え、投手戦が続くと思われた直後の中盤に大きく試合が動いた。4回表、益田翔陽は2死走者無しから失策と安打で1・2塁とし、5番西田昂のライト線を破る適時2塁打で2点を先制する。対する津和野は、5回裏に安打、犠打、牽制悪送球で1死3塁の好機を作ると、7番土手が変化球を捉え左中間を破る適時2塁打を放つと、続く8番大谷の打球が相手三塁手の捕球ミスを誘い同点に追いつく。更に犠打で2死2塁とし、1番松本がレフト線への適時2塁打を放ち一気に逆転に成功する。直後の6回表、益田翔陽は安打と捕逸で1死2塁とし、4番水津が三塁手強襲の適時打を放ち、すかさず同点に追いつく。

試合はこのまま膠着し、両投手による投手戦が再び続く。迎えた延長12回表、益田翔陽は8番西田翔の中安を続く打者が犠打で送り、2死2塁とし1番石橋がやや内よりの甘いコースに来た直球を捉えレフトへの適時打を放ち、これが決勝点となった。津和野も12回裏に2死2塁と一打同点の場面を作るが、代打で登場した主将の三家本が空振り三振に倒れ試合終了となった。

